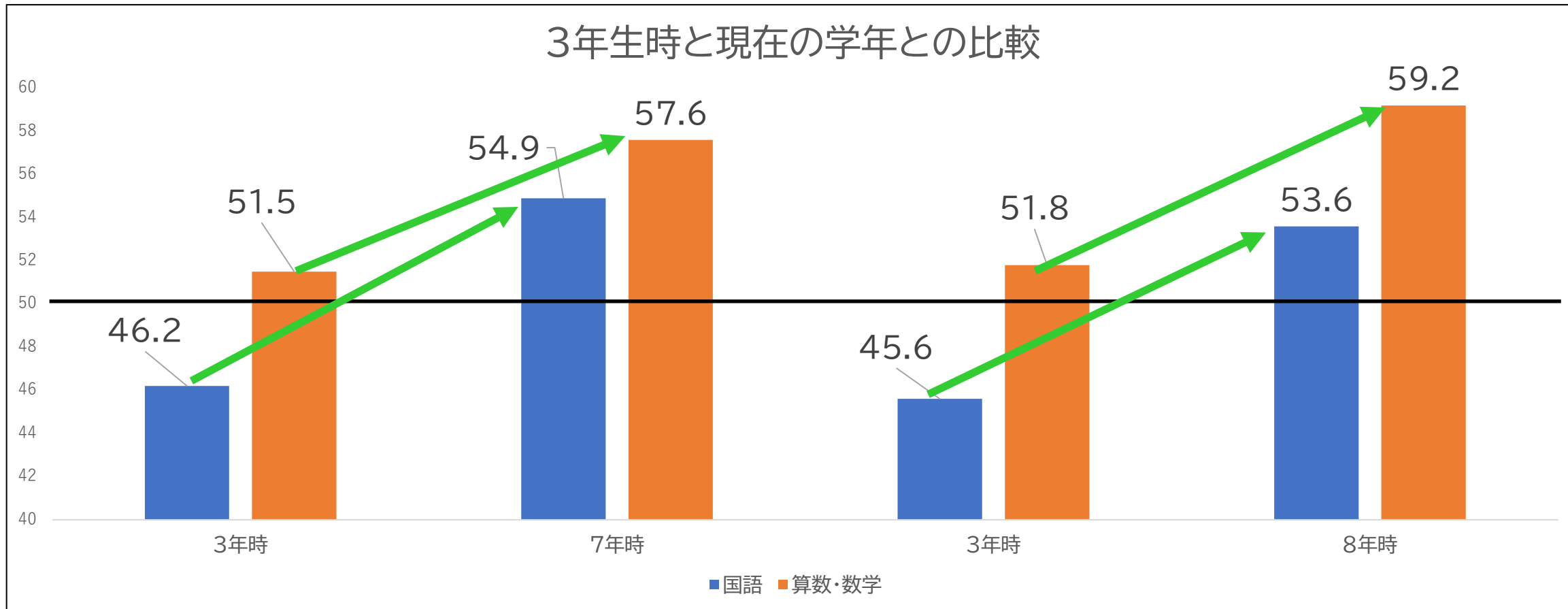


熊本県学力・学習状況調査経年比較(7年生及び8年生)

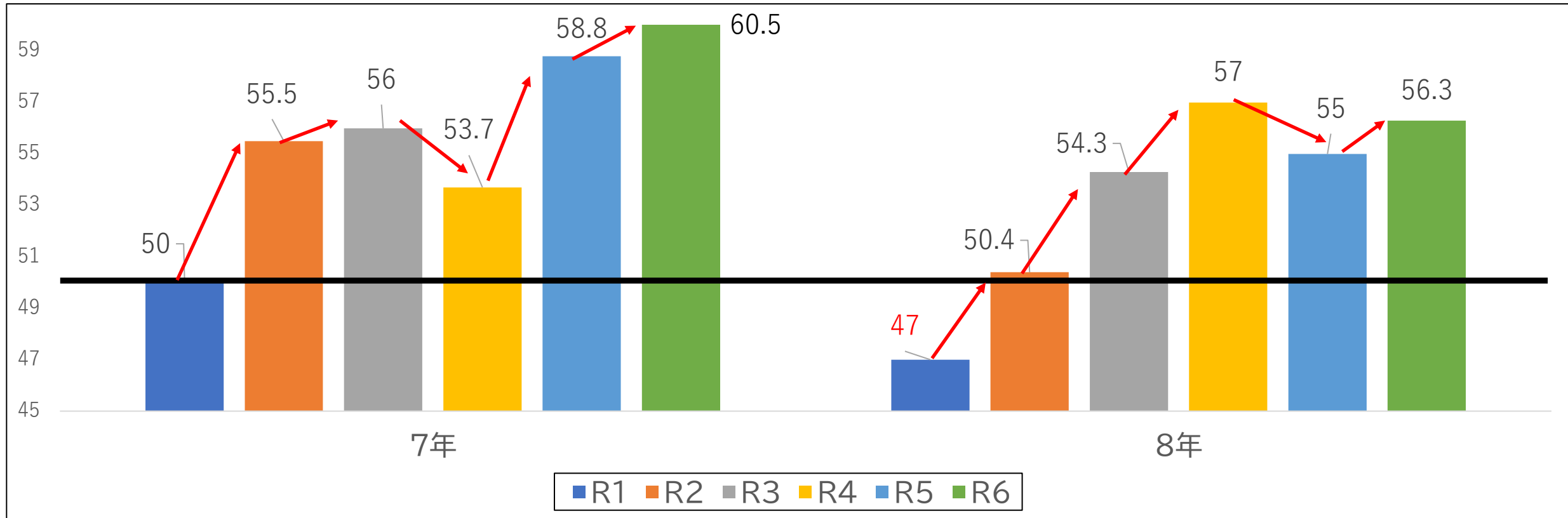
数値は全国平均を50(———)とした標準スコア



○両学年とも両教科で大きな成長過程を示している。3～4年生での一部教科担任制、そして5年生での教科担任制の導入により、「産山型学習」による連続性のある学びが確立されていく。前期課程から後期課程にかけて細やかな指導の効果が経年変化の伸びにあらわれていると推察する。

熊本県学力・学習状況調査結果:過去6年間の7年生及び8年生の英語の結果

数値は全国平均を50(——)とした標準スコア



- 過去6年間、令和元年度の8年生を除いて、全て全国平均以上の数値である。
- 令和6年度は7年生では10.5ポイント、8年生では6.3ポイントと大きく全国を上回っている。
- 本校では3・4年生の外国語活動、5から9年生までの英語科の他に、1から9年生までが英会話科(1～4年:20時間、5～9年:35時間)に取り組んでいる。その取組の成果が中学校での結果にあらわれていると推察する。